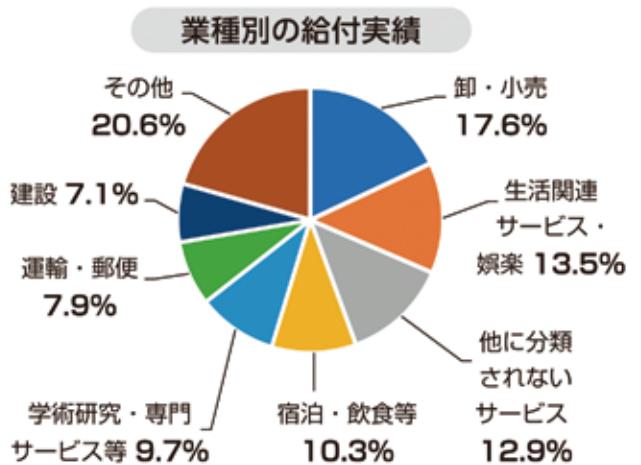


で、一時支援金において事前確認を行い、給付を受けた事業者は月次支援金の事前確認は不要となつたため、当所における事前確認件数は121件にとどまりました。

給付要件	売上が前年、前々年同月比50%以上減少した場合
対象期間	①令和3年4、5月 ②令和3年6、7、8月 ③令和3年9、10月
個人事業者	上限20万円 上限10万円
申請期間	令和4年1月31日～令和4年6月17日
事業復活支援金	申請期間は令和4年1月31日～令和4年6月17日



売上減少対象月の割合 (対象月:2021年4月～10月)	
4月	12%
5月	14%
6月	15%
7月	14%
8月	16%
9月	16%
10月	13%

当所で申請サポートを受けた事業者の声

飲食店(個人)

「持続化給付金の対象になると
思つたが、インターネット環境が
なく友人に相談したところ、商工
会議所がサポートしてくれるとの
話を聞きました。サポートを受け、
無事に給付金を受け取ることができ
きました。」

今までに経験したことがない苦
しい状態だったので、家賃や仕入、
水道光熱費の支払いに給付金を充
て当面の事業継続にめどが立つた
ので、とてもありがたく思ってい
ます。」

婦人服小売業(個人)

「労働保険のことで何度も商工
会議所に相談したことがあります。
今回の新型コロナウイルス感染
症の影響で、店が開けられません
でした。持続化給付金の申請方法
を商工会議所に相談したところ、
web申請手続きの流れや操作方
法を教わり、申請ができました。
受け取った給付金は、主に人件
費として活用しました。これが

不正に受給した者として1,41
2者を認定及び公表しています。
8月10日時点、不正受給額約
14億3千万円

●持続化給付金不正受給者の認定 及び公表

事業復活支援金	事業復活支援金
申請期間は令和4年1月31日～令和4年6月17日	令和4年6月17日
事業復活支援金は6月に終了し たばかりで、給付件数や給付額は 公表されていませんが、給付要件 がこれまでの売上減少50%以上か ら30%以上に緩和されたことによ り対象者が増加、当所の相談件数 は466件、事前確認件数は38 0件と大きく増えました。	事業復活支援金は6月に終了し たばかりで、給付件数や給付額は 公表されていませんが、給付要件 がこれまでの売上減少50%以上か ら30%以上に緩和されたことによ り対象者が増加、当所の相談件数 は466件、事前確認件数は38 0件と大きく増えました。
売上が前年～3年前までの同月 比30%以上減少した場合	売上が前年～3年前までの同月 比30%以上減少した場合
対象期間：令和3年11月～翌3月	対象期間：令和3年11月～翌3月
法人 最大250万円	法人 最大250万円
個人事業者 最大50万円	個人事業者 最大50万円

■感染防止対策協力支援金
北海道では、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、令和3年5月16日から令和4年3月21日までの間、9回159日間にわたり飲食店等に対し、休業や営業時間の短縮を要請、協力した事業者に売上高に応じて一日当たり2万5千円から10万円の支援金制度を設けました。
延べ5,989件(6,540店舗)、約47億5千万円が給付されました。

■新型コロナによる廃業・閉店・倒産・休業等
当所では、令和2年2月以降の廃業・閉店・倒産・休業等について、会員・特定商工業者や小樽青年会議所連合会、小樽社交飲食店組合、信用調査機関からの提供情報をもとに調査・集計しました。すべてが新型コロナウイルス感染症の影響とは限定できませんが、次のとおりとなっています。

■新型コロナウイルス対応事業継続支援金等
小樽市では、令和2年4月30日から令和3年11月22日までの間、市内の事業者に対し、各種支援事業を実施しました。
飲食店事業継続支援補助金、小樽青年会議所連合会、小樽社交飲食店支援金、がんばる補助金、飲食店休業協力金、事業継続支援金、事業継続臨時支援金は、その時々のコ

令和2年2月以降の廃業・閉店・倒産・休業等					
製造業	12	飲食業	21	林業	0
卸売業	11	サービス業	17	農業	0
小売業	23	建設業(運送)	35	その他	11
					合計 130

(令和4年8月16日現在)(単位:件)

新規会員募集中!!

当所では新規会員を募集しています。
いつでも気軽に相談できる商工会議所に
入会いただける事業者をご紹介ください。